

# 私たちの環境教育 高校1年生より ～現状、部員の感想と伝えたい想い～

三重中学校・高等学校 科学技術部 高校1年生

## 海の活動

私たちは三重中高科学技術部に所属しており、地元松阪市にある松名瀬干潟にて生物相の調査をおこなっている。  
先輩から後輩へ調査を受けつぎ、今年で9年目となる。調査の結果や考察、経験から多くの事を学んだ。

しかし...松名瀬干潟が貴重な環境であることを知っている人は、地元の方たちでさえ少ない。

松名瀬干潟の生態系を持続可能にするために、この知識を多くの人に広めていこう！また、海の環境についての意識も持ってもらおう！

自分たちでプログラムを作成して、環境教育をすることに

## これまでおこなってきた主な環境教育

### 干潟以外の場所でおこなう環境教育

#### 貝のキーホルダーづくり



#### タッチプール



#### モバイルづくり



### 実際の干潟をフィールドにおこなう環境教育

#### 潟湖干潟の生き物探し



#### アサリの浄化実験

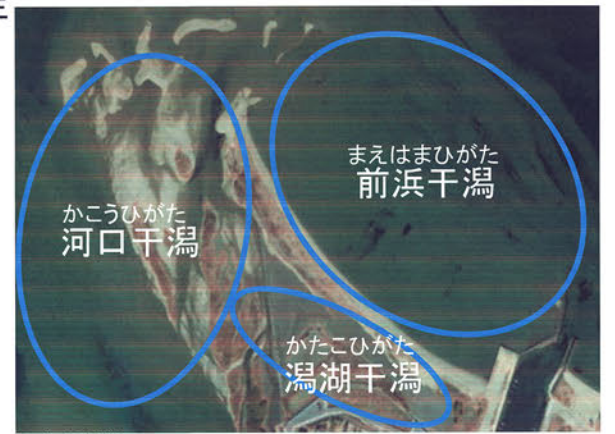


#### ビーチコーミング

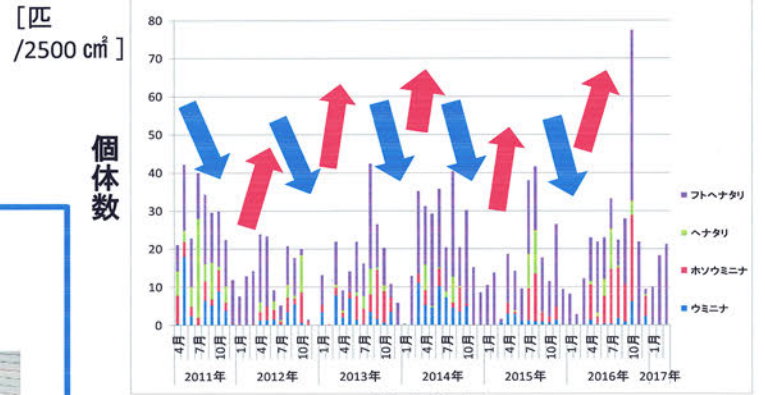
(海岸に落ちているものを、くまなく拾って見る企画)



#### 干潟の植物観察



松名瀬干潟、それぞれ環境の違う三種類の干潟が揃っている。多様な種類の生物が生息し、貴重な環境が広がる干潟



調査年月 [年月]  
潟湖干潟潮間帯上部 表におけるウミナ類の個体数  
春にかけてふえ、冬にかけてへっているところから、冬に死んでしまったと考えた。  
しかし調査の経験や論文から、冬に死ぬということは考えにくく、他の理由があるのではないかと議論になった。  
現在は冬に別の場所に移動したのではと考え、実験中。  
このような調査結果を、環境教育にて活用している。

## 環境教育をおこなった感想と想い

### 〈感想〉

・貝のキーホルダーづくりやタッチプール、モバイルづくりから「(実際に)海に行ってみよう」という声が聞けたり、生き物探しや浄化実験では参加者が意欲を持って生き物と触れ合っていて、小さい子どもにも生物に興味を持ってもらえているようでうれしく感じた。  
・参加者が私たちの企画に積極的に参加してくれ、海や松名瀬干潟、そこに生息する生物たちに興味を持ってもらえたと感じたとき、やってよかった、というやりがいを感じる。環境教育の企画・運営や、その中で伝えたいことを伝え、参加者の意識を変えられるようにする、ということは私にたくさんの学びをくれて、成長させてくれた。

### 〈想い〉

・これからも、環境教育を通して参加者に海の生態系に興味を持ってもらい、普段の生活の中に自然に配慮した視点を持ってもらえるよう、努力していこうと思う。  
・環境教育は参加者の意識に大きく影響できるものであり、同時に主催者側にも多くの学びをさせてくれる。この企画をこれからも続け、海の環境を意識し、松名瀬干潟の貴重さに気づいてくれる人を増やしていきたいと思う。

## 今年環境教育を企画したイベント

- 6月9日 環境フェスティバルin多気
- 6月23日 西黒部の干潟観察会
- 9月22日 まつさか環境フェア
- 10月6日 伊勢市環境フェア
- 10月26日 TOYOTA SOCIAL FES!! in松名瀬
- 11月10日 松阪木綿フェスティバル
- 12月15日 みえ環境フェア

これらのイベントを通して、多くの参加者に海の生き物や環境について知ってもらえた。

こどもエコクラブ最新号 (2019年度) (横断紙サイズ用)

クラブ所在地: 三重 都道 松阪 市 区 町 村

クラブ名: 三重中学校・高等学校 科学技術部

(2019年度 応募作品) □ 地元クラブの審査を希望